

議会だより

2005
2



「元気に行ってきま〜す。」
台風による園舎の災害復旧の間、金谷保育園に通う天津保育園の子どもたち

12月定例市議会の概要

12月定例市議会は12月3日から27日までの25日間にわたって「平成16年度一般会計補正予算」など20議案の審議と、9月定例会で継続審査とし、決算審査特別委員会で審議していた「平成15年度歳入歳出決算の認定」及び「平成15年度企業会計決算の認定」の2議案との22議案を、いずれも原案どおり可決した。また、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意するとともに、請願については6件の提出があり、その内2件を採択し、「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する意見書及び、「WTO・FTA交渉に関する意見書」を可決し、関係機関に送付した。なお、他の請願4件については継続審査となった。

◆平成16年度補正予算

一般会計で22億4,743万1千円、特別会計4会計で4,259万円の合計22億9,002万1千円を補正し、補正後の全会計の総額を715億2,236万9千円とした。

◆条例

福知山市都市公園条例の一部改正のほか4条例の一部改正を行った。

◆専決処分の承認

台風23号の被害による災害復旧のため、10月21日に補正予算の専決処分を行ったもの。

●福知山市一般会計補正予算

6億5,758万2千円
●福知山市簡易水道事業特別会計補正予算 1,000万円
●福知山市下水道事業特別会計補正予算 3,967万9千円

◆工事請負契約の締結(1件)

●市営住宅秋津が丘団地第5期建替工事 1億4,227万5千円

◆その他

- 財政調整基金の繰入れについて
- 字の区域及び名称の変更について
- 公の施設に係る指定管理者の指定について

(施設の名称及び位置)

福知山市治水記念館

福知山市字下柳39番地

(指定管理者となる団体の名称及び代表者)

柳菱クラブ 会長 稻上 知氏

●損害賠償の額について 3件

●土地改良事業の施行について 2件

◆人事議案

●固定資産評価審査委員会委員
塩見 英樹氏 (猪崎, 64歳, 新任)

◆国へ提出した意見書

●「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する意見書
●WTO・FTA交渉に関する意見書

12月
定例会

一般質問

新政会

田淵 弘	杉山 金三
塩見 仁	審良 和夫
井上 重典	福島 慶太
松本 良彦	

平成17年度予算編成方針について

問 15年度決算及び16年度予算執行状況から見て、新年度予算編成への対応と基本的な考え方は。

答 市税等の公金収納研究会を立ち上げ、公平で効率的な収納に努める。災害復旧に多額の補正財源を必要とするが、安心して安全なまちづくりを最重要施策に取り組んでいく。厳しい予算編成となるが、経常経費の物件費で対前年度比3%、投資的単独事業費5%のマイナスで指示している。

問 新規事業と重点施策は。

答 21世紀を展望する地域医療体制の充実、駅周辺整備事業、循環型社会の構築など、北近畿をリードする事業に加え、地域高度情報化、新図書館建設、地産地消事業の推進、由良川改修の促進、国道9号の4車線化、429号・175号の整備充実に努めなければならない。
(総務・財政課)

10月台風23号

問 台風23号を振り返って問題点と課題点は。

答 避難場所、情報の伝達方法、避難勧告と指示の理解、孤立地域の情報収集などに問題点があった。防災計画の見直し、自主防災組織の育成と確立が必要である。
(総務・総務課)

問 大谷川の改修計画は。

答 技術的に難しい問題であるが、最重要課題の一つであり、全体の整合性に配慮し、効果的で早期に整備がされるよう府に要望していきたい。
(建設・管理課)



台風23号で氾濫した大谷川（石原地区）



中心市街地活性化について

問 中心市街地活性化懇談会の成果は。

答 商店街の皆さんの意見を参考にし、活性化のために取り組みたい。
(経済・商工業観光課)

市町村合併について

問 基本的な考え方と見通し、今後のスケジュールは。

答 1市3町の枠組での合併は、21世紀のまちづくりのあるべき姿と確信している。説明責任を果たした上で、3月末には知事に申請していきたい。
(企画環境・企画推進課)

職員の接遇について

問 市職員のマナー向上は。

答 挨拶や接遇の研修を随時行っている。今後も市民の皆さんに良い印象を与えるため、研修を徹底したい。
(総務・職員課)

教育予算について

問 本市は、教育関係予算が京都府下の他市に比べ少ないが、市長の考えは。

答 教育は最重要課題である。教育力が低下することのないよう十分考えたい。
(教委・管理課)

茶の生産振興について

問 由良川沿いの茶生産地の形成について。

答 由良川沿いは、気候、土壌など茶の栽培に適している。茶は日本の文化であり、福知山の特産物としての茶生産を支えていくことも行政の使命である。新たな新植地と新規参入者が検討されるなら、府と連携し振興をはかっていきたい。
(経済・農林課)

福政会

芦田 廣	和泉 すす子
野田 勝康	武田 義久
芦田 弘夫	竹下 一正

台風23号の被害と対応について

問 自主防災組織の設置促進に、どのように取り組まれるのか。

答 自主防災組織は非常に大きな成果があり、必要性を痛感した。今後、小学校区単位で結成に向けての説明会を開催する。

問 地域防災計画の見直しについて
の考え方は。

答 避難勧告、避難指示が住民に十分伝わらなかつたため、避難体制及び情報伝達体制の見直しが必要だ。災害対策本部に電話、FAXを設置し、直接情報が入り、即座に判断して避難勧告などの指

示が出せる体制にしたい。また、自治会長連絡用の専用電話を設置するなどの対応を考えるとともに、災害対策本部組織及び避難場所について見直したい。

さらに、避難所の位置を示したハザードマップの更新や土砂災害マップの作成配布、また、地域防災計画見直しに伴い概要版を作成して配布したい。(総務・総務課)

問 台風による山林の倒木被害について、伐採や片付け等の経費を助成できないか。

答 激甚災害の指定に伴って、伐採や搬出の補助事業はあるが、本市の倒木被害は、面積12ha、約1、400万円の被害額で、条件に該当していない。緑の公共事業の観点から助成を考えたいかなければいけないかな、との思いもある。民有林ということもあり、なお、検討させていただきたい。(経済・農林課)

問 17年の稲作に間に合う復旧ができるのか。

答 農地、農業用施設の災害復旧は、農業用施設を最優先に進め、農地は、その後になるが、できるだけ早期に対応していきたい。(経済・農村整備課)

問 作業道の災害復旧を強く要望するが。

答 今後、作業道についても復旧できるように考えていきたい。(経済・農林課)

災害に強いまちづくりについて

問 今回の災害を契機に由良川改修促進に取り組む市長の決意は。

答 由良川治水同盟会の中でよく相談し、住民の署名を持って抜本的な改修を各関係機関に強く要望していきたい。(建設・管理課)

問 市道由良川堤防線の舗装が損傷しており、早期改修の考えは。

答 舗装の改修は、現地調査のうえ損傷の激しいところから順次改修していきたい。(建設・土木課)

問 弘法川・西川の内水対策に、今後どのように取り組むのか。

答 荒河排水機場及び和久市可搬式排水ポンプ場にポンプの増設など、排水対策の強化を国土交通省にお願していきたい。(建設・管理課)

国道6号の整備について

問 駅南から新庄地区までの改修の見通しは。

答 長田野から羽合交差点までの4車線化は、平成20年代後半に完成、供用開始の見込みだが、新庄地区までの改修は未定である。(建設・管理課)

巨大明智光秀像建設について

問 観光面から、波乱の智将光秀と福知山を売り出すべきだ。

答 市民の声、資金計画を見て、前向きに検討する。(経済・商工業観光課)

平成会

有 幸男 加藤 弘道
立道 正規

国道6号整備について

問 丹波町以北の9号は、特に4車線化が必要である。ルート9協議会の取り組みの成果は。

答 推進協議会は、1市5町で早期実施をめざし、機運を盛り上げる協議が進められているので、今後の取り組みに期待したい。本市としては、まず中心部の4車線化が大切と思いついて進めている。

問 野花地区に架かる佐々木川橋は、離合が困難な橋となっており、早急な改修が待たれているが。

答 幅員が狭く通行に支障がある。国土交通省では、架け替えが必要な橋として架け替えに向け本年度詳細設計をしていただいている。(建設・管理課)

本市農林業の将来について

問 本市の第4次総合計画策定の中で、農業の将来像と基本的な考えは。

答 本年度は農業経営基盤強化の目標を定める基本構想を見直す年度。効率的かつ安定的な農業経営を営むものに農地を集積していくなど目標を定め、それを総合計画に上げていきたい。

問 定年もなく生涯現役を貫いて生産・加工・技術の継承など、能力に応じ幅広く活躍している高齢者に、行政も敬老精神を大切に支援を。

答 熱意をもって活動されているグループに対しては、特産育成、地産地消の対策の中で支援を検討していきたい。

問 植林された杉・松が見るも無残な姿で倒れている。この状態で放置すれば今回以上の災害が予想されるが、今後この森林をどのようにすればいいのか。

答 多くの倒木が起きている。今以上に間伐整備を促進して下草が生えるような健全な森林に育てることが必要。国、府に支援を要請していくが地域の問題として考えていくことが大事。緑の公共事業として何らかの対応が考えられないか検討をしている。(経済・農林課)

災害対策について

問 避難場所の一つずつでも無線を設置し、活用ができないか。

答 電波法が改正され、デジタルへの過渡期であり、通信エリアの問題も含めて検討をする。(総務・総務課)

下川口地域の水害対策について

問 石本・勅使間の堤防の早期完成を毎年要望してきたが、見通しは。

答 具体的な見通しは立っていない状況だが、国土交通省で今回の出水

状況の分析を進められており、国・府・市が一体となり対策を検討する。

問 下天津地区の治水対策として、国道175号の嵩上げ計画は、

答 由良川改修と一体的に検討される必要がある。下流域の水防対策事業の整備方向を見つめ、関係機関と検討したい。(建設・管理課)

問 農地から宅地への転用が可能になるよう、市街化調整区域の線引きを変更できないか。

答 各種法令で規制がかかっているため、個々のケースによっては詳細な検討が必要だ。(経済・農林課)

問 下天津地区の危険な状態の裏山について、急傾斜地崩壊対策事業の実施をお願いしたいが。

答 事業の方策がないか検討したいと府から聞いている。(建設・管理課)

日本共産党市会議員団

仲林 清貴 渡辺 麻子
足立 進

台風被災者への支援と防災対策

問 床下浸水家屋に対する支援策は。また、地域防災計画の見直しは。さらに、由良川改修をはじめ、新たなポンプの整備や府管理河川の整備を求める考えは。

答 床下浸水家屋についても義援金配分の対象として検討したい。防災計画は、17年度中に見直し、小学校

区単位で説明会も行い、訓練も実施する。由良川流域住民の安心と安全のために同盟会で検討し、署名運動にも取り組み、改修の促進を強く要請する。

弘法川や法川のポンプ増設を国に要望し、弘法川・大谷川・和久川の浚渫は京都府にお願いする。(福祉・社会福祉課、総務・総務課、建設・管理課)

合併問題への対応

問 合併問題で、福知山市民に対し、合併の「是非」も含めたアンケートを実施する考えは。

答 「是非」も含めた住民アンケートは実施しない。住民説明会の中で意見を聞き、最終的には議会で判断を願う。(企画環境・企画推進課)

障害者支援を

問 障害者計画見直しの進捗と、数値目標を盛り込む考えは。また、社会福祉法人や関係者が取り組んでいる各種事業への支援や、通所授産施設整備の考えは。さらに、くりのみ園など、就学前の障害児対策を抜本的に拡充すべきだが。

答 計画は3月には策定し、数値目標は可能な限り設定したい。支援センター1分室や宿泊訓練は、一定の支援が必要。児童デイサービスは、放課後対策として重要な課題であるので、慎重に考えたい。通所授産施設は、すみやかに施設整備をはかりたい。くりのみ園への入所希望は増加傾向で、週2回通園の要望も出ているが、移転場所や財源確保が課題。(福祉・管理課、社会福祉課)

体育施設の利用時間の延長を

問 コミセンなどの体育館や、学校体育館の利用時間を延長する考えは。

答 コミセンなどの体育施設は職員体制もあり、現行の午後9時までとしたい。学校体育館は、できるだけ早く結論を出す。(教委・管理課)

子育て支援の拡充を

問 子育て情報誌を必要な世帯に配布し、子育てを応援すべき。また、子育て支援室(課)の設置の考えは。さらに、次世代育成行動計画での学童保育の位置づけは。

答 「おひさまひろば」や「ふくちドットコム」を、保育園・幼稚園へ配布するよう考えたい。総合的な相談窓口も考えていく。学童保育は、市民のニーズを把握した上で計画的に進めたい。

問 公立保育園の延長保育を拡充する考えは。

答 職員配置の問題も出てくるが、懇話会の協議を受けて今後の方向を決めていきたい。(福祉・管理課)

学校図書館に専任職員の配置を

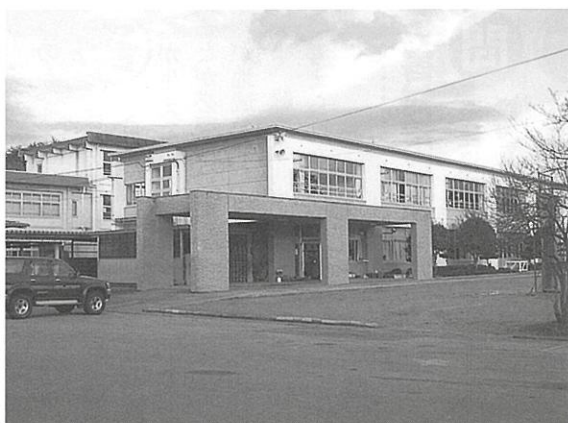
問 学校図書館に専任職員やボランティアの配置を。

答 司書教諭の配置は努力する。ボランティアは、今後期待に応えられるようにしていきたい。(教委・学校教育課)

下六人部小学校の整備について

問 今後児童が増加し、教室が不足する。現在も障害児学級の複数設置ができず、その対策は。

答 今後の児童の増加をみて、教室の確保に努める。障害児学級2クラスへの要望は、学校から聞いており、府教委に上げている。(教委・学校教育課)



教室の確保が待たれる下六人部小学校

豊富用水の安全対策

問 豊富用水の台風による水路の被害に対する対応は。また、災害時の対応は万全か。

答 水路は、応急復旧に取り組んでいる。災害時の対応は、市から豊富用水土地改良区に連絡をとり、地元関係者に周知する。避難は非常時の指令・伝達系統により周知徹底を行う。(経済・農村整備課)

改政会

吉見 光則
大西 敏博

合併によるまちづくりについて

問 高度情報化事業について。

答 まちづくりのポイントとして、人が集まり企業が移転してこようとする要素は、下水道整備が整っているかであったが、現在は情報網が整備されているからである。本市としても光ファイバーを基本として高速インターネット、地上デジタル放送の充実、自治体LANなどで行政サービスが受けられる環境整備を行い、住民満足度の高いサービスを提供できる情報環境を整備したい。それに向け、市内にIT推進本部を中心とした専門組織体制を作り推進していきたい。

北近畿の都センターについて。

問 保健・福祉・生涯学習・情報センター等の多様な機能を備えたい。

答 保健・福祉・生涯学習・情報センター等の多様な機能を備えたい。（企画環境・企画推進課）

三位一体改革について

問 合併後の財政運営について。

答 財源確保が難しい中で、安易な起債の発行や基金の取り崩しを避け、財務の体質強化をはかる。（総務・財政課）

駅周辺開発について

問 今後のスケジュールについて。

答 18年春にJRの高架と駅南口が開業し、駅南広場の供用も開始となる。その後、現在のJR駅舎を取り壊し、KTR高架工事、駅北整備に着手し、駅南2号公園整備は18年に着手する。駅北1号公園整備は、20年のKTR切り替え後の着手となる。（駅周辺整備室）

安全・安心なまちづくりについて

問 子供の安全について。

答 子供の防犯指導は、各学校で頻繁に行っている。また地域での防犯活動を活発にさせていただくようになり喜んでいる。万一、事象が起こった場合の情報伝達の仕方、各関係機関へ送るようになっているが、学校によって異なる。警察への通報も含め、今後検討していく。また防犯ブザーについては、通学時以外での使用についても指導していく。（教委・学校教育課）

防災について

問 大きな被害を受けたが、避難勧告が出なかった自治会もある。

答 情報収集を十分できなかったことがあり、大きな反省だ。素早く体制を整えることが重要である。

防災計画の見直しの骨子は。

問 避難勧告・指示が十分に伝わらなかったことが大きな問題であり、全面的に見直す。避難場所の見直し、ハザードマップの更新、土砂災害マップの作成、避難体制・情報伝達体制の見直しをする。また、備蓄品の増加に努め、できるだけ避難所に備蓄品を備えつける。

避難勧告の発令基準を各河川、各地域毎に策定しては。

問 その場その場でしっかりとした情報に基づき、空振りも恐れず発令することが大切である。（総務・総務課）

公明党議員団
小野 喜年 今次 淳一

台風23号に伴う問題点について

問 新市民病院や下水終末処理場など、公共物の水害対策は。

答 市民病院は設計地盤が海拔17・2mで概ね確保している。下水終末処理場は水処理施設を地下室に設置している。出入り口1か所は防水扉を設置する。（病院・病院建設室、下水・管理課）

福知山城天守閣広場への通路に固定いすの設置を

問 急な坂は高齢者などにとって大変。2か所程度の固定いすの設置をしてほしいとの要望があるが。

答 20%の勾配で、かなり急である。幅員に影響のない範囲で2か所設置したい。（建設・都市計画課）



美術館前から福知山城への上り坂道

教育長の教育方針について

問 公明党は、弁当を持参するか民間に委託した献立を注文するか、「中学校弁当・給食選択方式」の導入について、署名8、720名を集めたが、教育長の考えは。

答 選択方式になると人数や業者の関係で煩雑になる。現在は考えていない。（教委・学校給食センター）

廃我幼稚園の存続について

入園予定者減少で存続の危機に
なっているが、行政の対応は。

開園50年になる。地域あげて取
り組んでおられる。幼児教育の
拠点として今後とも大切にしていきたい。
(教委・管理課)

救命率向上へ「自動体外式除
細動器(AED)」の普及を

公共施設などの配備を一日でも
早く導入すべきでは。

必要性を認識しているので、一
般市民への普及活動とあわせ
て、各部署で計画的に配備を検討して
いきたい。
(市民人権・健康推進課)

市民球場のスコアボードを電光
掲示板にすべきでは。

スコアボードは1億5千万円か
ら2億円かかる。改修計画を十
分に検討していきたい。(教委・生涯学習課)

その他、当面の課題について

市斎場にオストメイト対応トイ
レを設置する考えは。

17年度で検討していきたい。
(市民人権・斎場)

子育て支援策の一環として、「子
育て総合窓口」を市庁舎内に設
置すべきでは。

相談機能が求められているので、
設置を検討していきたい。
(福祉・管理課)

「耳マーク」は、耳の不自由を表
すシンボルマーク。市役所の窓
口に設置する考えは。

設置をしていきたい。
(市民人権・市民課)

市民病院の医療機器納入について

納入の90%以上が地元業者1社
と随意契約が結ばれ、メーカー
に丸投げ状態であり不可解だ。

特殊な機器でもあり、緊急時の対
応などから結果として1社にシェ
アが高まっている現象はある。

薬事法許認可業者を楯にして合
意形成された契約締結なら官製
談合になる。不自然な調達を考え直し、
今後は公平な医療機器調達改革になるよ
う見直しが必要だ。

今後も10社程度から見積を取り、
最も低い価格の業者と契約するな
ど、公平な入札方法を検討する。
(病院・総務課)

台風23号の被害について

市民に対しての避難勧告と避難
場所への伝達がスムーズにいかず
大きな課題となったが、現在の地域防災

計画と防災行政無線の抜本的な見直しの
考えは。

無線通信手段は有効と思っている。
電波法の改正でアナログからデジ
タル化への過渡期であり、課題もあるが今
後検討したい。
(総務・総務課)

長田野工業団地の公害について

長田野企業の粉塵・臭気・騒音・廃
液・交通など、公害防止協定が長
年見直されていない。本市税収には貢献し
ているが、地元への公害対策の考え方は。

府中丹西保健所と連携し、公害の
発生源対策に重点をおいた企業指
導を今後も継続したい。企業と周辺住民の
安心につながる場がもてないか関係機関と
協議を進めていきたい。
(企画環境・環境推進室)

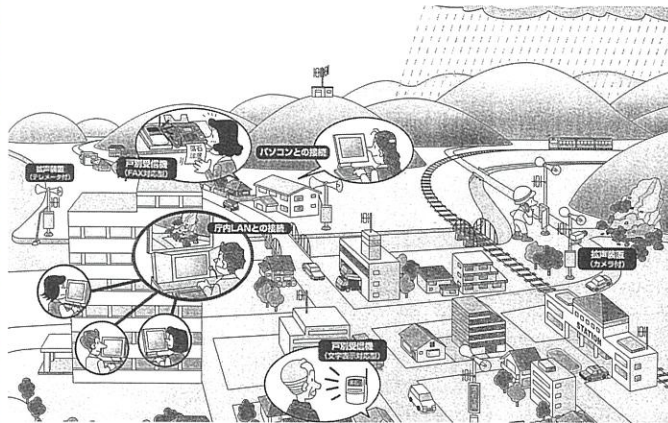
指定管理者制度について

制度の目的や対象施設箇所数及び
委託終了時期はいつか。

公の施設管理に民間能力を活用し、
住民サービスの向上と経費の節減
をはかる。施設125か所を平成18年8
月までに委託する予定。
(総務・総務課)

自民クラブ

和田 久 永田 時夫



災害時に有効なデジタル防災行政無線システム

無会派

荒川 浩司

災害ボランティア派遣について

災害初期におけるボランティア
派遣の考え方は。

被災者本人や自治会長から対策
本部への申し出で行う。また、
市職員が要請する場合もある。
(福祉・社会福祉課)



戸田地域での災害ボランティア活動

総務委員会審査報告

当委員会に付託された議第32号平成16年度一般会計補正予算など9議案について審査を行った。

歳入では、災害時の緊急復旧予算の財源措置の考え方について質疑があり、災害復旧費は高率の国庫補助と地方債を優先活用し、特別交付税は、災害という特殊事情を前面に出して増額の要望に努めていくとの説明であった。

歳出では、退職手当の増額に関わり、退職者の全体的状況と、災害での超過勤務手当の支出増に伴う職員の超過勤務実態についての質疑に対して説明があった。

議第38号、市税条例の一部改正における入湯税の課税免除規定を拡大する理由については、一般公衆浴場との公平性の観点から免除規定を拡大したものであるとの答弁があった。

議第45号、公の施設に係る指定管理者の指定に関しては、管理者委託料額と算定根拠、国土交通省との管理運営費の協議についての質疑に対し詳細な説明があった。

以上の経過で審査を終り、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決承認された。

市民厚生委員会審査報告

当委員会に付託された一般会計補正予算他3議案について慎重に審査を行った。

一般会計補正予算は、地域福祉計画策定のために地区福祉推進協議会と連携し、1地区をモデルに選び調査、活動委託を実施するとともに、19地区全てで地域福祉カルテを作成するほか、市民公募を含む策定委員会を立ち上げる。さらに台風による浸水のため、床板が反った庵我児童館遊戯室の床張替え工事のほか、高齢者インフルエンザ予防接種事業についても予防接種の必要性が周知され、接種者増による補正予算であった。

また、国保診療所費特別会計は、川口内科診療所及び歯科診療所の施設や設備の老朽化に伴う改修、更新のための補正予算であった。

さらに台風被害に関わる天津保育園の備品購入や災害復旧工事、災害見舞金、し尿汲み取りと浸水家屋の消毒、避難所住民への飲食品購入経費などが専決処分されていたことに対する承認を行った。

以上で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決承認された。



経済委員会審査報告

当委員会に付託された議第32号ほか5議案について、慎重に審査を行った。

経済部災害復旧費関係議案の質疑に対し、まず用水関係の復旧、次に用排水路・農道の確保、続いて農地の復旧を考えており、市内業者を優先し、早急に工事を進めていきたいとの答弁があった。商工業振興費では、経営が赤字でも運営上資金が必要であれば、融資斡旋は行われるとの説明があった。

ガス水道部簡易水道事業関係では、今回の災害を教訓に何か対応策は考えているのかとの質疑があり、今後工事方法とともに、より頑丈な水道管を検討しているとの答弁があった。

下水道部関係の専決処分については、京都府、国土交通省近畿地方整備局との協議の結果、仮復旧でなくすべて本復旧として取り組んだとの説明があった。

その他、「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する請願、WTO・FTA交渉に関する請願について、慎重に審査を行い、請願の願意を了承し、全員一致で議会の会議に付して採択すべきものと可決した。

また、付託された6議案は、いずれも全員賛成で原案可決された。

文教建設委員会審査報告

当委員会に付託された議第32号、一般会計補正予算などの議案について慎重に審査を行った。

建設部所管事項では、台風23号による長田野工業団地クレシア西側の緩衝緑地斜面崩壊についての災害復旧工事に係る補正は、地滑り部分が幅35m、延長100mにわたり、土砂1万㎡が崩壊したもので、土砂崩落抑止杭を打ち込み、暗渠排水管を敷設して、盛土4、100㎡で斜面を復旧する。地下水脈対策として水平ボーリングを設置し、地下水を側溝に流出させる対策をとると説明を受けた。

教育委員会所管事項で、学校施設の災害復旧完了時期の質疑に対し、北陵中は平成17年2月を目途とし、3月から校舎での授業を再開したい。天津・公誠小学校は、年度内に工事を完了したい。また、旧金山小学校体育館取壊し後の跡地利用については整地し、駐車場としての利用を考えているとの答弁であった。

都市公園条例の一部改正は、都市緑地保全法等の一部改正に伴い、違法に設置された建物や乗り捨てられた自動車等に係る監督処分の明確化をはかるものであるとの説明を受けた。

以上の経過で審査を終り、採決の結果、全議案とも全員賛成で原案のとおり可決された。

請願(12月定例会上程分)の審査結果

■採択したもの

- ◆「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する請願
- ◆WTO・FTA交渉に関する請願

■継続審査となったもの

- ◆学童保育を要望のある小学校区に設置することを求める請願
- ◆『30人学級』を早期に実現するよう政府・京都府に意見書を提出することを求める請願
- ◆教育予算の大幅増、教育設備の充実、教育費の保護者負担軽減を求める請願
- ◆学校の図書室の蔵書数を増やすことを求める請願

12月定例会で提出した意見書

■「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する意見書

平成16年12月27日

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・内閣官房長官 宛
外務大臣・農林水産大臣

■WTO・FTA交渉に関する意見書

平成16年12月27日

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・内閣官房長官 宛
外務大臣・農林水産大臣

議会だより 11月～1月



【11月】

- 1日 決算審査特別委員会
- 2日 決算審査特別委員会、議会運営委員会、全議員協議会
- 4日 全国市議会議長会高速自動車道市議会協議会理事會
- 5日 近畿市議会議長会事務局職員研修会(橿原市)
- 8日 議会運営委員会及び視察、全議員協議会
- 9日 全国市議会議長会広域行政圏市議会協議会理事會、文教建設委員協議會
- 11日 京都市市議会議長会事務局職員研修会(京都市)、宇治市議会行政視察来市
- 26日 議会運営委員会
- 30日 市町村合併特別委員会、市民厚生委員協議會

【12月】

- 1日 全国市議会議長会国会対策委員会(1日～2日・東京)、全議員協議会
- 3日 12月定例会本会議、各派幹事會

【1月】

- 10日 由良川改修促進特別委員会
- 13日 本会議
- 14日 本会議、議会運営委員会
- 15日 本会議
- 16日 各常任委員会、文教建設委員協議會
- 19日 京都市市議会議長会(福知山市)
- 27日 議会運営委員会、本会議、全議員協議會、議会だより編集委員会
- 11日 議会だより編集委員会
- 18日 議会だより編集委員会
- 19日 各派幹事會
- 20日 京丹後市議会行政視察来市、全国市議会議長会職員研修会(20日～21日・東京)
- 24日 京田辺市行政視察来市、京都市市議会議長会事務局長会(京都市)
- 26日 千葉県印西市議会行政視察来市
- 28日 全議員協議會
- 31日 北部5市議会事務局長・次長會

編集後記

今年最初の議会だよりをお届けいたします。

昨年は、度重なる災害が発生した年でありましたが、特に、台風23号は当地方に甚大な被害をもたらしました。災害に遭われた市民の皆さんに心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧と平穏な市民生活が戻りますようお願いしてやみません。

12月議会では多くの議員が災害問題を取り上げ、市の防災対策について質問をいたしました。安心・安全なまちづくりの重要性が改めて問われた議会でもありました。

地方自治をとりまく情勢が大きく変化するなか、正念場を迎えた合併問題など重要な課題を控え、議会の果たす役割の重要性を改めて認識し、今後とも市民のための議会をめざす所存であります。

この議会だよりが、さらに市民に身近なものとなるよう編集に努めてまいりますので、皆さんの声をお寄せいただきますようお願いいたします。

